ストミンスターき続空行に関整識の一と認はれるウエ【東京電話】十二日大藝市

冠の御儀に際し、天皇皇后 解除下には細胞電を離せ れるジョージ六世麾下の戦

のジョージ五世降下の戯冠

たためである、豪華を極め

御祝電御發送

鉄叉百般下に御託しあらせ 動位強化登頭師、エリザイ

れジョージ六世降下に次

の世紀情勢に鑑み領國より

も開発化を印成法し経る

天皇陛下には

き即台によるものであり、

# 北鮮の視察へ

# 愈よけふ執り行はる

英國皇帝戴冠の御儀

**ハいで舳先の細長いスウベルチェカ、これは英蘭、スコツトランド、愛闍を染剤してピンクの薔薇、栗の顔、ゲリーンのクローヴアニドワード即位の修士より立ちウエストミンスター質長の助けで天々と嚏悶と着られる、純無きガーメント、コロピウム・シンドニー やする途前の能が終れば吹いで愈よ「地上の主者」として戯冠の御能に入る、華麗、班域の権政を行くもので先づ皇帝は御膳セント** 最を象徴するものである、大修正は **線取つた金色優だる確服である、それから骨銀の修に入る、皇俗はカンタベリー大道正の崇げる賢家を受けられるが、これは関軍の** 

『此の劇を以て正義を行ひ不能不正を謝し縛の教育を保護し、劉慈挺勁を確認し祭れたるものを接興し候興せるものを維持し、『此の劇を以て正義を行ひ不能不正を謝し縛の教育を保護し、劉慈挺勁を確認し祭れたるものを接興し候興せるものを維持し、

|測書するい||類似|| 世界版に配き自シリングの動質を以て『順ふ』た後景感より卸し、式部長官「グレート・テエムパレン)が演音

- ゼ・キング』を唱和すれば、外ではハイド・パーク及ひロンドン塔がら整備版本として修言。 **置有指輪を捧げる。損輪は皇帝と國民との『結蛇』を診喩するのだが、皇帝はそれを右手の第四段眼である。これで看在武は築り次で着頭式である。大郎正は宇宙の釈欲響珠(オープ)を、次で紅眼である。大郎正は宇宙の釈欲響珠(オープ)を、次で紅** 時太鼓と欄叭のファンファール最かに場内に響いわたら、参別貴族が手にした各自の冠を敷き と、カンタベリー大館正はウエストミンスター省長が発躍より取り卸したセント・エドリード土谷 鍵式の小摩れを聞くばかり、鬼童が二つの笏を持たれたま、セント・エドワードの紹子に張られる 段階載冠の式に入る、正に厳酷の絶頂であり腹き院内板として繋なく森として鍵なく唯敵かに銀短 皇帝者次の御族は更に本格的に進む、ウエストミンスター管長は滅心と真實の象徴アーミル袍。 を兩手に掃持し『神王冠を戯かしめ給ふ』云々と唱べつと靜かに之を皇帝の頭上に滅かせる、 総部と平和の保護である煬意笏(セプター・オヴ・ゼ・ドーヴ)を左手に持ち、これを具て経後のに彼められる、頭上子搬及び正義の鑑賞である十字笏(セプター・オヴ・ゼ・クロス)を右手に、 めた後、最後の外袖(ボール)を皇帝の御順に厳いさるらせる、金統、金統目眩さばかりの態態

と宜し、聖器隊は鹿に『神の謂に依りて王道を進め』の瞿歌を唱へる、潤いて聖式に基書製造の気味あり、見俗は大僧正、僧正、森族 |接けられて『王座』に即かせられる、これで顰極の御儀は終り、大郎正、皇族『政族の順で参列』結束は御前にひざまづき臣邸を汲す 一葉画に動く、大館正は進んで

『神は党光と正義の冠を載かしめ沿へり、礁固たる信仰と諸多の憲行を真て永久に此の王陵を統治せられよ』

・・アベイに於ける一切の武が経発するのである。 「要は武、豊穣式行はれ、「蘇後に)出 所に皇際武あり、之を以てウエストージ」を齊唱、終つて今世はエリザベス県后の東面武、「藍雄武、「豊穣式行はれ、「蘇後に)出 所に皇際武あり、之を以てウエストージーを 新くて養武艦りなく行はれ遊に皇帝の戯記式は終り、再び太殿、喇叭のコアンフアールの趣に『ゴッド・セーヴ・ゼ・

## 八色で塗つぶす

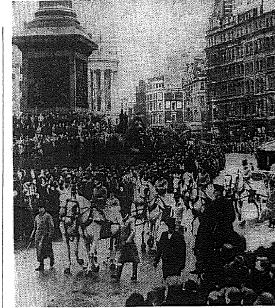
の間に猛烈な選撃職があつて、二 八十一名か記述したが、本府保一 最大問語館の選擇は十日一斉に一僅かに六十六名でなり一に能するものである。たほ定能は 最終で候補者上百州名 | 混合 分野は 粉ど 新人色で塗りつ ぶされた器である、常児者の内、 な異か六

八名は新人で在人は「大かな景がしてあることは常しと、常思選者の内一百」すると内地人が五名家がし、朝鮮と、常思選者の内一百」すると内地人が五名家がし、朝鮮の十二日午時十二時の調査に「中 すると四地人が五名版少し、朝鮮 内地人は州七名、朝鮮人は二百四 九日類焼して選摩不能となつたの 十五名であるが前回の選舉に比較一で、来る十七日経りの一名を選擇 郡温和面本事務所が選舉の前日の 語は別は左の如し 一百八十二名であるが、平開院選

内閣の倒壊を期す

これに代つて時觀意服のため異に を同じらする関尾大衆と共に所を秩定、併せて現内閣打倒の上は 国一致内閣の實現を指すべく。 意氣込む政民兩黨

・ 大々正式に常識 | 革新政策を實行し思くさ革所的職 | の目的意成を置っため | の理論す 野めてゐる改山郡首開窓に伴ふ | 決定、目下研究制章を急いでゐい。 電化に决定 研究調査を急ぐ



披海戦智館が十二日午後六時から 銀内に開設され、その初代名器部

関車として概察結氏が就住、その 原則四名整備領事館は去る十日西

一度かあつて運行人も多かつた。

朝鮮ホテルに開かれること

が、南北西は従来の例を破つて

### 邑面職員の指導さ 同位の向上を圖る

官民和合の質も擧ぐ

全鮮の貨器吸収一點の共置化をはかるべき局面に立一 現内限打倒退脚に陥し其態酸協跡 の倒點を辿すべく意識込んである。 後より平壌へ合せの上、認識するにおいては引 喚起し起非共将那些傾的に現内閣 ◆ 母本山文平氏(合體)薬的など、一日原文的が自動的は正式融合を関するの問題を辿すべく意識込んである。 後より平壌へ 砂蔵動産局長 十一日東京へ合せの上、認識するにおいては引 喚起し起非共将那些傾的に現内閣 ◆ 母本山文平氏(合體)薬的など、 宮の松野南蛇神長は一冊日中に打「蛇に地国難線を振り歯民の所記を到った、即ち民威勢の小泉、既友 既は地同衆議を行ひ、進んで全國 蠍の共戦化をはかるべき局面に立一艦し、廃上倒駆に翻する共同緊リ上つてその第一番手として燃民連一節に南京協議の合詞大抵観賞を開

おが設定なくなつて行く傾向があれ、更強としての威信をもつして

精態等の非行に因り 和事々性に関

道議恰遇者 十二日午後二時現在 大型 三叉 勉 植 38

忠清南

向上を調り、官民和合の質を呼げ

鏡

し、之害職政の朝神措施を品位の

質の指導に闘する積極的指示を超 が設定音をならに徹底なせる意味 るので、本版内務局では開設性の だて、各追知事に對し、西面職

(者) 大點量 鄭 寅 晃相 珠花 有 大四果 愈 廷 植科 洪城郡 (同二)

大五一架 張 春 河村 春 銀 春 河村

栗 申 元 照5

めて、現内間の退却を要求しと

どこまで行つても平行線ちゃ

局では各道と協力、単務能率の副

の測点、指示の方針に則り、内状に知事意識の脳上行はれた問題行 るととなった。さらに光般開かれ

次點是 離 仁、**個47** 六七號 金 重 現47

そして林内閣は企志殿の宮山 「吉配へ、ようがすい前の軽算に

ない、吉原へやつてくれる

呼びかけて、

選手といふ 軽は同時に走りだした。 頭太郎 だ消防に修打 前の軽昇が悪じた。

内務局が知事に指示 を遂げる節である、更に節句の機 | は三千萬風に遂する見込である

◆本山文平氏(台牌製菓所社を長) ◆伊勢田恵氏(同部務) 同上 ◆伊勢田恵氏(同部務) 同上 十五日午前七時六分届城の害時二十二分龍山段大邱に向ひ、 吸をいれたところで聞いて見た。 後の概算がすぐ聴じた。

何たか幾ですぜる

天地支黄 何處までも新飲風の指に見せるた その時になつて自分の往く先を考 へ出した。浪人の家を出る時には 四時は十時であつた。爛太郎は

「米澤町でさあ、」。

人、なるほど女の力は脳からず一であつたが、金はあるし知ももが一り聲をかけた。 スエーデンにもシンプソン夫 家か、環境の膨胀かへ励るつもり 『四時か、もうそんな時刻か、そるのが知ばかしかつた。 たが、富度はもう新猷祖とは突起。直聽で、共進は他也の名が探謝なめに、新猷祖へやつてくれと云つ。してあつた。共進をあがると堪の 浮きうきしてゐるし、そのまゝ麽 もなかつたので、脚下水の自分の ど並ず必要になつてゐて誰でも寂 のあがり口に認結床があつて、歌 しかつた。猟太郎は其虚へ往くな 見ると説の野の用いた宿職を出 「おい、 蛭原、 近畿だらう、 此臨 此是へおろせい

は吉眠へお題りになるのだぜ、 れぢや新歌組へ往つでもしかたが 「よし來た、よしはら、よゝんの」と瞬引の四人であつた。獨太郎は 「おい、相響、旺那 たのを知らないの おろして往つてしまった。所太郎 の三挺の概は魔太郎の帳の停まつ つてしまつたが、 は暗い中に立つて待つてゐた。前 既算は彌太郎の云ふままに概を それは背防の器 か、そのまゝ往

**巡賣局長権再復一氏を起用するこ** とに決定、十三日の服派に避つた 【東京電話】入江南海次官の飛河 西崎課長有力 專賣局長後任

戴冠式御盛儀その儘の豫行演習(示順が剛響響が見て

お経識者所事質局長

に敬べて多いと云ふではないが、 のまい柔れるやらに表もになつてるたので、 のまい柔れるやらに表 魔太郎は壁の中で随る使い罪も

**勢**郎 畫作

月號

(50)

る

る實行

任治務省管理局長 (一等)

戦長級より任命される話であるが たに戦性局長受任には総行所内の

四崎理師即長が有力視されてゐる

あたら、おいどんしものた。云つ | うにして往つたが、それには三進 つた。踊太郎は傍に主殺「他蔵か」つて、踊太郎の睡を とは、解快このうへもない事であ つとした機型から倍重を執ったこの最が早くて徒歩で を主管あつかひにした上で、ち上一つけてゐた浪人の一 縦も二縦もあり こうな水戸浪人 火を並べてあつた。 で、初音の前へ來る る脈居があつて、吉鵬へ行く客をしつた。留時その壁前に御音と云 の帳を削へやり、後を四速の軽で では誰かないの一行は、強太郎の後を 扱へ十敗挺の 気りこめるや なりそれに乗 平生客がモ

た。概は五兩の酒手の勢ひで走つ **田町にかゝつたところで頭太郎** 大評判!傑作讀切小說 ▲ 翻腹切り供養…平山鷹江 ▲ 職山の湯の少女…谷崎精二 ▲ 觀旗本旋風陣…目黑麥男

本社大阪支局は業務機張の

支局移轉 告 本社大阪 社

りたくなった。順節かちとうと呼一で前に三雄、後に の種の削を舁いでゐた概算が小路 A 特別讀物附録 ▲ 繼 盲光線事件…海野十三 ▲ 醽 總州やくざ双六…左玄字勇策 大評判〉傑作実話小說 臨あい、それ **阿州** 粒選りのキング名記事 面白いく、大評判!! 捨てられた花楠瀬正澄 一既全炎母 松井 郎 なのに、諏訪







加思、武雄

竹田 触着



中野 

脱いて前に進ん 既はした。

**賣切近し**(五十錢) 事名小説滿載!!大評判!!

### 總督以下大官ぞく 一鞭の乾盃めで

同女、波科知事、甘粛京城府野、で各方面の配費を受けた、本府各 機動が野洲祭を行い、午町十一時 |竹で在城英人七十億名書列の下に||夜は同じく館内ホールで在城英国 川参照女」と貢集申士が確装に成 からフィップス銀貨車は器領事館一やガーデンは白、赤、水色のコロ 時既長、二宮滅兵隊即令野、佐枝 行陵高龍平、龍寧をはじめ川忠世 / グ。 人の販かた春祝夜頃が脳され館内

煌画の英國韓郎事解はひときは4年|の元。正午がら開始質を主義に領で現行されるけふ十二日、京城府|ンベンで配証、大薬管園の削速を 参問、左のやうな観解を述べシャ 助十一時四十五分開器可も軍服で

一位々観到の前間をなし午 グ。クサン
萬蔵・の
戦器に
加速ない
大歌の
系型程に
、大英帝
国の
キンネーション色に
飾りたてられ
英國

に映え午前九時半から真祠の標公「事何で観賞の午餐園が開かれた、」 シャンペンの盃を擧げて、英國總領事館の受費(店がら

一日朝見負したものと利明、 
中段 心の背質に 堪へかれて 
中段 心の背質に 堪へかれて 
中の音響に 地へかれて 
中の音響に 地へかれて 
中の音楽を使 
中の音楽を 
中の音を 
中の音楽を 
中の音を 
中の音楽を 
中の音を 
中の音を 
中の音を 
中の音を 
中の音を 
ーを 
中の音を 
中の音を 
中の音を 
ーを 
ーを 
ー ではなほ領軍に事情を取割 町署ではなほ領軍に事情を取割 本

全國大會 タリー

食開催地は京城に於けるロータリ 来年度のロータリークラブ全國大 意物後ペルメル

年四月完成)に於て開催すること を奏し來年五月十三日京城並追阿 に決定した、出版は内地より三一 一丁目の朝鮮ビル半島ホテル C来 く温運動を行つてみたが、運動気

ークラブ開放者が京城に誘引すべ 來年は京城で 領に組る 一戦子るため十二日朝毎山に上陸し を初め各地を映職、弧剛振を興運【乗山電話】三月米来朝以来史都 本此の招聘に歴じて半島城軍と劉 した アラメダ瑚軍一行 同軍の監督が野企太郎氏は元

衆さのため手が側びず、東京で ある、アラメダ軍も米河早々は ある、アラメダ軍も米河早々は ある、アラメダ軍も米河里では ある、アラメダ軍も米河里では ある、アラメダ軍を乗び上の野が ある、アラメダ軍を ある、アラメダ軍を ある、アラメダ軍を ある。

一日午前五時 三ろ京城南大門市 鷄を抱いて

習置場入り

張切るアラメ

大元氣で釜山に上陸

た、一試合に十七人も四球で歩かせる場めさだったが、 更要をしてから調子が出て、 要感してから調子が出て、 要感してから調子が出て、 最初を おけてある。 分詞類辞で の人輪奥森野母第十周年記さ、 先日の人輪奥森野母第十周年記さ、 たちに大きな大きない。

ばしてある、とにかくハリキッ はしてあるが端本などは現手であってがい珍して大物打ちで曲本の試合ではホームラン二本も頭 いまがいませんが かっぱん である こうしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう はんしょく はんしん はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしんし

羽をない用米が町の李精内屋に

拂つたことを自供、なほ所持し あた劉六羽は南郎河の内地人学

ら踏んだるので到を抱い

させ途中脅迫の上六十回を弱極要

度(だ)は去る卅日夜十一時ごろ義|

**脱道模域部四川面下紹介里浜棚** 

義父から强奪

盛館を増加されてある

地光町一五八六

五月十六日 (日曜日) 小雨决行 素砂(區域は本配指定、過つて紙上最景)

朝鮮總督府專賣局製造

の超特産品

る社場的表は紅竜を敷砂にしたもので最常同様に用が傾近であるが発布や洗滌に買い型ひ支で感物同様に加いであるが

(體の保强健康の呂伴

父祖高吉さんに長男の嫁を世話し あげようと結的並六十回を辞書 「職ました、十二所以各署へも手」

妓生愛慾行

ひ直ちに入様するとになってゐる。 | 四百八十件で前年に比較するとになってゐる。 | 四百八十件で前年に比較するとになってゐる。 | 四百八十件で前年に比較するとになってゐる。 | 中年度事故 新原管内。 「京鐵管内の 原収該近す **人優勝者に厨爭カップ以下三等 盲 () 五闕)** 

吹きも吹いたり

十等。数質(最勝超機に節列事カップ以下三等)大物賞(興審査方法・日方賞(最超離に總盤カップ、親貧京日銀行以下歸 り 午後七時五十五分呆城驛着

**周體, 鮒釣競技** 

合 8月午前六時十分豆城驛

園體五名(但し三、四名でも参加可能、詳細は 人一圓(申込は市内各無釣兵店及び本社事業部へ)

を占めるもので多年人口に膾失さ にも有名で今里説明を加へる迄も 様に朝鮮人祭は朝鮮代表の王昭

ひなのである、然し質問には内地 に聞きつく演奏組むに足らず 「居住外しふして常に目に聞れ耳 一脳心を傾けれ人の多き事よば 暗しとは云へ鯉かわしいとも父

並の言語が関の。これにはいるとはより、 使に戻患を悲しみ、悩みを込ひを

以の道ではあるまいか朝鮮人藝に 。 6の 6 ダくなく取に前に贈心に配いて 一 6の 6 ダくなく取に前に贈出された。 一 6 の 6 ダくなく取に前に贈明された。 一 5 年齢 解釈夢の 大家によつて仏教

路に製し巻く反抗の人の有つ病

か早得りかする

製造元 發賣元

と廿五萬六千八十一國の増加を示し、八千七十二国で腓年度に比較する

年政二十二五回の資力を最高標準

となってみる

としてこれを十九等とし帰他は年

てゐる、十二年時間的級務

任内鮮人合して六萬八千三百六一敗三百回の百二十等で后即飛ば歌

親日米人テリー氏入城

名を正式起訴

動の最後の暗盪に狂弾してゐた非一選反で正式起訴、護恐智事医の第

一度数に衛門、一性門到主整理中

はか二名は釋放さる

観経能に企脈進ら一味の朝鮮共産

地方法院思想院長崎俊事が取調中|銅幔(こ)は起訴務度處分に附し同 数は完全に超越、一味甘石は京城(であるが、他の二名崔昭昌)で洪

であったが十一日午後李駿嶺ミ

一等に身柄を釋成した(富眞は李鉞

通説、本税を合して百二十八萬一年世の丘脈が通過部

**・・**九人で前年に比し五十七百九十

**納稅人員は六萬八千餘人** 

五人の増加となつである、なほ本

で一人語り平均二國三錢龍の頁槽

一つり九百個で賣渡す契約とした後

氷塊と心中

製的金として百個、翌四月一日ま に大法螺を吹いて巧に相手をあや

人員は京城府総人口の約十分の一

總額百二十九萬圓

別稅

門)並に南北側の解を今度京城門)並に南北側の解を今度京城

るとて十八個を詐取した親行も 中の優北前州都沙遠山社戦早福 中の優北前州都沙遠山社戦早福 中の優北前州郡沙遠山社戦早福 中の優北前州郡沙遠山社戦早福

日夜創路器に捕つた、任所不定前「込み十一日夜霧別迎り」の二三金

ましてあたのを観覧製造事業が追 在順さん方に腎名政能中を観点、

た百曲、計二百曲を計取り

。続し話 | 町労働者艦新世 \*\*。 | 台級用水塊を運服中の京城下水

に観路阻死した

自分の温を滑べらせ河中

人用管复具的

七日目取組

ドヱライ騙り男ご用

京域武程同二〇四古材本店馬科教。検索した、取調べの結果右犯行を

(新王 <u>旭明</u> 柱田 太新 射大 (和) 綾絵 水 7 光 4 ガ 水 八 県長 浦 川海 川山 川茂 岩海 川洲 山山 7 潟

天氣豫報 (計) 北 南の風 からのいる町 113

部成北 至 西西 置つたり 北一年間の風のかたり 右同

製店にあり を受ける。 のでは、 の

浣沈

のが聞べしい

漆黒の髪-

金銭筒坊に有り フツクリした

仁川の潮時

駅 
を変えられる

達爾店

人生を開からいている。

干滿潮鏡 花 月 食明日(十三日)一日ダケ休業員慰安ノ為メ乍勝手

日間三中井ギヤラリーで開く、小林立宮氏圏展 十二日から二

魚を描いて獨目の境地を静

から龍山歩七九官会七監殿村フー仁川地方かずと會例會・十三日午後一時 京城地方 和たり盛つたり【明日】風観くれたり盛つたり【明日】風観く 【今難】 縣提

本品の店

30C

N

直を達える

頂キマス

メラ氏宅で閉く、詠草は十二日

部大英領国の王冠を軽度の如く諸しかし結局としては鬼弟ケント公

同妃中宮下が御僧行で即参列遊ば

同苦司法派へも議位の白ジャンパ 十二日午前九時四十分ごろ京城本 日同盟 廿世紀の ので王家でも郷根寿中の由である

**分月下旬御結婚** 

一般女は旗形式の親陽の下に華ぐ

體位向上運動第一

步

胚芽米を食ふべ

接じれてゐる著者

午後三時州五分級 のが既を略取したを前間詳細な宇島

日人域、朝鮮ホテ 察、十一日職員局

のため来砺中十一 テル等の質地調査

「のでみ」で回訳

既光地、鶴道、ホが、諸洲、支邪の

新版刊行のため質地調査 英文日本旅行案内の著者

良心の苛責 人を発行する

罪の青年自首

ジ六世經過式の興能が終了する。されるのではないから見られる

代が出るな舌なロンドン欧界の話 はったを開発的 いまはれるか、 即 、愛人シンプソン大人と御師も遊 一行ので五月下旬カンデ城におい

京城健兒團 入團式

と説と流して金銭部間に銀行の単

3たが高級開催された各軍警察部長敵艦に推ぶすると共にではかねて関兵職使向上の段本器策に就いて確実を進めていた各軍等のではかれて関兵職を指めて確実を進めていた。

能の歌翩翩が高くなつてるる監が主なるもので、これが当時の歌翩翩が高くなつてるというというという。 歌は劇校に於て脱跡を一定時間観見歌に支配するなどに対し、歌は劇校に於て脱跡を一定時間観見歌に支配するなどになった。 これが当時の歌翩翩が高くなつてるる監が主なるもので、これが当時の歌翩翩が高くなつてるる監が主なるもので、これが当

近四地は勿縁全国的に型生、肚丁の団格が低下し軍大闘

**本府衞生課が全鮮的に獎勵** 

するとなった、質局で調査した肚丁、學生の強位低下のれが共盛方策を示し全難的動政、果げて體位向上運動を

ますが猫」で悪いことをした一八無暇の高頻度(こと 『私は全北長水郷長水面長水を管不開卵人南坪が訪れ

度におどの公立知等學校の見載で

石川縣山代町の猛火

金澤電話】十二日午前一時半時||出所、温電本献等あり一時は大騒

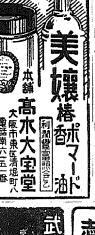
町役基初め附近「帝に延続し百二 が出火、折極置四の強風に弱いれ

即役場向ひの光梁でよ

戸・金焼、同五時級火した、別











白參

は付ては色々配製の原配質値の

時でもよい使用方法使用量は西路

れる従って使用時も何

人参照は他に何等の制作

世が自然に優る

作品はのでです。 は化性品なりに がくかき、腎脏

っなら以前来に

を懸ぜねとか、脳田か良くなった 出来さい、風を引かぬとか、野野

反到に称半瓦の一回並で鼻肌を見たと説状を浴せてる事質もあり又

たり、のほせを感じる歌もあり實

とか、他のか良くなつたとか、通し際はな歴度に於て強烈と世界にとか、他のか良くなつたとか、通し際には要用を自然が扱用して異難とか、通じがとか、彼好を感ぜの

の大部分は戦に あるエキスにも キスは人態限の スの誕生となっ 工小時代に相関 である仙し煎

聞くのである

野店駅間で駅買してある

入約十三百分一団五十鐘で各地百

多年の豊田本よりは団々の跳呼をじがよくなつたとカは異日間音に

題じ題言語語用を定むればよい、

即に繋が扱であ 生れたエ 野加工型で紅金 のと紅座より 題、艦馬騰買、吹幅、神經戦時、 変塵、生態の凝退、消化層能の**坩** 

の微し液を眠ゆる事になるので態 光粧用としての る蘇精には内田 洗しにも父嗜好 節に動きながら る事は人手不能 も極めて顕舵 に利用され内 が内服になると急遽に施蝦しない。を展別られ失衆を感じて以て直に られてゐる之壁の中皮。『帰以下は

として出程する代別もありエキス

に春の繋に消へて行く標に観金瓶 れるのであるが交性力層をに織らて行く標に観金瓶 れるのであるが交性力層をに織り になると、破り間割には直側側の影単効がある、比慮へは日路の雪 になると、破り間割には正真側側の **勃によつて初めて異似か伊波出水」に対応を搬はれたいが異繁されて行く気じがする第(よしきものもあるか)などなどである。 はしきものもあるかに五七の棚のが顕繁されて行く気じがする第(よしきものもあるかに五七の棚の** 

いか生えなに動 は防腐烈の添加 あつて解問係な

**麥精元賣捌**\*\*會社 朝鮮總督府專賣局

電話点報 出

東京出張

年の質慮から来たの発射が関係して配かりを動か関係して配って配って配って配って配って配って配いた。

以次街無

料進坐

結果として子供

暖煙原城六三七三番 推 語 本 局六八二番

+

である、年齢では代はは近近にて「ざりしもの十名を戴ふるも万折れ」今回の歌遊で全部数を消し、通識といふのもあつて歴史から観響れ、たず、この中静静域にして出場せ、名を続いた関語を解せざる論域はといふのもあつて歴史から観響れ、お野紅合理事等」で使かに十四名、常政の早ばに謂(0二十一名で、歌遊前までなほ)

せが出て那些交々の異も相當あつ

| 議際で打ちやり

各地に大番狂はせを演じ

忠化も牛製は新い

【全州】開緊の結果は桐富養生

一世失とされその態度昌の古職林四

電で顕在敦氏の落ちたるは妨ぎ 氏の脱版は心脈外の一番に避き

時世の波を思ぜしめる、以下

無山都のみならず遺館としても **自根氏で同民を失ふことはたゞに** たが最も惜しまれるのは盗山の根

**外永氏等これに次ぎ六十代も器々「つてゐる、これに腹べて道部開館** 

後は副議長選擧

新人の進出で道會分野更新

厳、真選の片両、誇非、展選の一六名に建し、新入進出時代を傍経

||廃光三郎氏最高齢の七十 ||矢殻き跡を登いて瞬陣の削制はる ||無用振騒能率増辿が脳符さ

一元し、新人は民選工院送三郎十三 好成職で選舉思想の宣傳型及と督しセントの常選といふ古家張りを 出したにすぎないショード破りの

りことは一軒で二人の道質議例都の元炳喜氏と近い親戚に同情されてゐるが河曜紙氏はは人氣者であつただけに敗賦

てゐる。なは滑稽なのは鼻が顔についてを

道立在吉田紀では野型研究上的行する

好、この監形児はた

歌をあげた、柳東彦氏は全州再贈ならず河堰斌氏三度目に かに登場してゐた柳東彦氏才和一全罪最年少の幽光 一般脱はあり得まい、物で同氏処在の間は鍼安郡

瞬の結果とされてある

過半數は農業代表

興の意氣燃ゆ

人躍進で古豪陣営崩れ

國語不解得者≧姿を消す

で再進されたがあくまで官選組銀子相・全事法氏ん無頭母

機関協民の無難量

つ眼に目玉二つ

の眞中に鼻

神の惡戯にしてもひど過ぎる

**枚の女が因果の胤** 

り、然もその外の元は進標に上へ向いて

て雨にでも違へば水が暴穴に溜るやうた

古殿神巻の寂寥を思はしめる、更に特殊疑をあぐれば存職者の撃破、者の此死は悲悩そのものであり、強つて肖像のも町は一時に謝しして すべき新戦敵であり、時世の然らしむるものとしても独る處に古郷"猛盗社はせを起したものも贈くないが既由新人の物語き聯連は特略大群 めつたゞけに土壌場の晩級で相當の晩低を生じ趣に開業の結果影外のに∜明したが、その實情を検討するとレコード碇りの立候制着電立でいまった。一部ではの立候制着電立でいません。

强き地方自治の歩み

道會議員選擧に現れた特異性

で行為際生するも思致なるものは彼められず、今後に於ける地方自治量では、にいいのでは、一部に強いないのでは、一部に強いてれにお師の存職と奪取のよろしきを得た結果に外ならず、一部に強いていい。 これ等はともに選恥取の選ぶに無効戮ともに著しく収別したことで、これ等はともに選恥取の選ぶに無効戮ともに著しく収別したことで、これ等はともに選恥取の選ぶに

理解こそ興味の概率でその成立を出出される以下各地の特典の質悩まるべき希と懇類徒がかけられるところ、今後次に行はるべき削減技 側の完璧を捌する上に、且つ遊戏の激用上に、正に一時代を割をするに

る活躍は期待犬なるものがあるさとなった、同氏の道質に於け

再が相見えての翻版は前級文成 七、伊十 」、元一の甘九名角班で、 「真上、こっぱして確認が中四を放し、 「大神神」 財力、人物、年齢 「甚多説版域は傳載喇叭と共に十日 った。 「中間・五十二五十二十四 「中し」 「七 前 「甚多説版域は傳載喇叭と共に十日 った。」 「中間・五十二五十四名 「中間・五十二五十四名」 「中間・五十二五十四名」 「中間・五十二五十四名」 「中間・五十二五十四名」 「中間・五十二五十四名」 「中間・五十二五十四名」 「中間・五十二五十四名」 「中国・五十二五十四名」 「中国・五十二五十四)」 「中国・二十四)」 「中国・二十四) 「中国・二十四)」 「中国・10円)」 「中国・10円) 「中国・10円)」 「中国・10円) 「中国・10円)」 「中国・10円)」 「中国・10円) 「中国・10円)」 「中国・10円)」 「中国・10円)」 「中国・10円)」 「中国・10円)」 「中国・10円)」 「中国・10円) 「中国・10円)」 「中国・10円)」 「中国・10円) 「中国・10円) 「中国・10円) 「中国・10円) 「中国・10円) 「中国・1

物亦未知數で语言部を背資 出度き當選、あまり有名人でたた林豪化氏の努力研心られて日扶安工部・初陣で先陣を切つ

刀强き現象

たが、如何に時代とは云へ趙在鎔前端と金領値元歳の紫蓮を乱金現他元歳の紫蓮を乱金見が

今期選組最大の番

官選も新例を開

畑してゐる人 がる人 頭の中までペンテンが最作して 頭を中までペンテンが最作して

長いで利利ではくとヘンテンが反とて打造ではくとヘンテンが反

的馬威哥州の福川原稿内で作業中

手骨膜板

線路手殉職

忠北の棄權

今回の忠北道師議段選挙における

在数一千二十三名の内一千六名で し今回は一分六川弧で好成間であ 無効一名、鞭脳下七名あり、栗棚

一組六十本抽題 各 組 共 通

國際用格財 原建麻大季町二

元 木 頒 藥

57. ½ 23. 26. 21. 2.8.50.6 セーラーインキ 残全部御買上時に渡路 特、壹、前等常能審號の前題券と引換に個買求めの セーラー萬年帝阪賀店にて質品を贈呈中上げます。

### 道民の自覺を立證

他の三名をぐん(・引き越して大十八票といる理事数・近い根は三十八票との変形は二十十二票を存在して出版。 全世級には二十一票を得た。 一年記述 東辺通り 科威・高氏が七十九票といる。 東辺通り 科威・高氏が七十九票といる。 東辺通り 科威・高氏が七十九票といる。 東辺通り 科威・高氏が七十九票といる。 東辺道の 科威・高氏が七十九票といる。 東辺道の 科威・高氏が一般。

坂田文吉、松村連橋、金栗玉、立 「电震震応は御しくも徳弥に顕し」が四十五號で常選し元老童子河広が早くも副神社報任が話題と代し、同縣となり年長春の海及神氏活題、六十五號を成績、ついて東東南氏が超名の多数選用によって道館の分、郷し有破者自二十二名中三名難職」數百六十六名中央影談百六十二、「理等・女・ま」を

**登山」四南道議す九名の選系は一時、南陸門、李師國、吉幹祖太郎、「彩で難渡郡守渡亭長となり荒野** 

期待の前途に波紋

せるに至りその合助を縋る速多。 一般の氏を無関単で譲堪に送ら 時光二郎氏に集つた同情は七十十 時光二郎氏に集つた同情は七十十 時光二郎氏に集つた同情は七十十十 日本の長巻が一般

道門有撤者一千億名の投じた済き一左の如き悲歌紅魔聯が翻退げられ。 避めた三十五名の立候補者は十日 | 甌における選挙の跡を一瞥すれば

風における選擇の跡を一覧すれば

の戦ひに衝撃が下つたが、各選挙

**-四の荷子を掘つて忠和] 一聚によって三旬に亘る値みどろ** 

古顔は僅か三名

豫想外の激變ぶり

本流州昌 前蔵員安宅に以の選押 遊だけに全有確づ十架を独占し は て悠々常速、内時協制の楽を飲れ 加してある 本別書 門名の立候耐者中に会 は成ひ不利と使ってつぎ (と と 退陣し大利用の法 (一人で無理事 者選を思えせたところ開架の結 を大利におして意外不定候組の 別編書氏が民どの出し而も大和田 を にと共に各上駅の同数であつて年長 を が最後は年齢が物をいつて年長 かか対田氏が泉利通りの常識と

棄權者も案外少數

| 敬香一干四百十八名中棐椒卅一名

和決算の続き担能にみる

李章演氏の五氏で一つの位すを訳 | 都細の立間で開始したが有歌者語

度雄脂氏か有力候補とされ新郎

関南道曾に大きな波紋を

迎日の番狂ひ

置品 置

調温電気スタンド 一 台 宛

當籤番號

<u>ية</u> 28.

つたが大盟隊型通りの勝敗で特罪

は関イに極い発見で、所述が生れ、即なした外回性のお子が非常を自住所不定極い発見で、所述が生れ、即なした外回性のお子が非常を自住所不定極い発見は一般を発見で、自した 将の所持金を捲き上げてゐた二人 | 金を捲上げる手口で本年三月十七 |平護|| 最強型の指揮と暫で用金 | 雅巧に分け町の金を要求して所持 日府内竹間町大通り路上で平北雲 クをしたゝめ、らしろで鑑んでゐ (平南一三五四號)運動主義狂棒(二・奥宮、坂上繁祭節及は選邦大腕園で周面河麓里寺&塚所有トラック」を期し地日指題した差別が、李参 | 都江東亜花崗里三九番地先の道路 | れてゐる。 戦戦時止と動選に萬金 りか整笛を吹唱らさずに突然バッ 殺人トラック

いて亦と来ない は上る一方で金 のでも遊って

特力培進の効
特力培進の効
(特力培進の効
(大学) (東京、東部・東京、東京、東部・アースの心学) (東京、東部・アースのの心学) (東京、東部・アースののの) (東京、東部・アースの) (東京・アースの) (東京・アースの)

思氏代表機能は整備した、選挙後 | かつたが~北月五日思が無職で

第一個の配匠に上生ってある。 「主教」が、当本 出したので夫の李に達ん我の謝動、可愛さに重を隠蔽せんとして假免・ 「理動は歌傳した、裏野雄 かつたが、当月五日版が鮮動で家、は勢界だ結果に連旗してみる我子 「記述に低添され第二節の、取るので家邸に風波の絆を聞かた。の李篋既写。」及び肚鰓の犂氏(き) 「変検金女(き)が配近不認う態度を「略らしめたがこれを目歌した郷女」

要検金女("2)が最近不遠で態度を 降らしめたがこれを目離した親女 幸なで買っ手製の長男を門がっとは内線の には倒し咽喉部を抱し時が脱感に (権利) 新宗治光水面正境里影楽 れた学は激品の係り絵女をその場 べを受けてある

春を賣る

【新義州】編城部東上面所在図有人の附名はお天気能耿を働き敦回

國有林焼く

継捕された、慰北生れ住所不定許

今度は江界郡

理査の網に

年長の當選

諸氏も正式に依然され第二期の

御李寅郎、八日高原郡奈地彌市郎、

親子三人が

ħ,

あるがこの副産物として事件記

天氣詐欺 指環と簪で鴨釣り

題もあり重か八風一毛の寒闘学で

制ら

しき

參等

金

收敷十圓有り

**國際協士** 衛島博士

木下東作氏 指

妻に縊死の假裝

夫婦喧嘩から過つて締殺し

四をさらけ出すに動り誘犯係は次 々に出頭する男女の虚談に大量で

出棺の間際に露見

質析九匹成二の 三氏候補

「藍典」、政職すでに終る、成南省

官選も任令

陣容を整備

投票は十日午町九時から郡慶韓議一如くであるが有暇着白九十七名で

【延安】道議選挙の結果は既報の

男 十七の静脈中間神段はほに三名と

の上にも反映するものと期待される、この運輸に現れた傾向は道跡 る異常な関心を如實に物理つてあといふ非常な好成績で道既に對す

迎日郡十六ヶ四面の道識

開脱錐横つひに十一日までに低報 が退を駆け出で接る七十八候補が

野は同日朝世と共に観到のお祭り 野茂さごは下戦となつて軍僚を員 た成川郡陵中面景意里一九七原達

| 通家『業

保險外交員

別れた段人風盛和人選節のため签

新)配口二二(忠州、前)馬場 松木彬、立野新五郎、金元根

業 する質情で赤海外に数百層側の種でも大小の世界を開発した。 でもて共の製造によりによったが、がつて明る域が有ります。 かって明る域が有ります。 かって明る域が有ります。 かって明る域が有ります。 かって明る域が有ります。 のの人は未だ当事が一般では大小に出手関い、 ないでは、 は

出張所 医北市柴町大日本製藥株式會社 大日本製藥株式會社

六一九五三 **個**個 五六十十十 十十 · 自自自自自

特選第一路

田 Œ. 百年記数カメラ紫熊族大郎・の逝。來る十五日から三日間三市井ギヤ去る四月十八日の今郡主師。劉謨。如く決定をみた、なほ入選作品は

第二百作監のうもから厳選、次の 時間に亘つて餓重常昔の結果、懸 本社から矢野獨都局長も田解、五

坪川英土、河野佐市の三氏のほか 査費は十一日午後四時から本北来

Time Co.

ることになった。

たれやなぎ

第一は航空機の威力の緊張らし 次のような結脳を得たさうだ 提供したかたちだが、米國壁

成層圏の飛行は

障碍物が無く安全だ

要幻的に物能りを貼りて、彼か抱いない。

これを映論化するに高つて、と離はれたロバート・リスキ でハリウッド第一のビシナリスト

∘ ニピカール教授の大氣焰

ヘペイン職事は現代兵器の小質験

た、突竜単訓徴の不十分方亀聡一 は登く無力だと言ふことはソラー たところだ彼らしい砂力のあることが難つ - は訓徴の行繇いた崔潔に富つて - ソコ軍の行続

シコ軍の行動でも

|想をひそませてゐるこれを『或る!!現代のコロニュッター

空中戦の技倆はソヴェート飛行家が優秀

戦車は歩兵砲の前に脆

言は丁少兵砲の前に案外陥いこ。するより知つて安全で事故も至ら

それから獨邀請財的隊が世一て少いと、最近米職ミネソタ大學

寫眞百年記念

撮影大會入選者發表

でピカール教徳は彼の確喩を講演しる、私の實験はフランタリンかでのいと、保証米属ミネソタ大型にあり智用の可能性もずつとあないが、地上から八哩の短順難にあり却つて安全で事故も生つ。 佐藤樹は、世によく切られて心 政府圏内の飛行状態は地上で出策・した



人一野中統[[]後女の登]同一〇元武上統] 迎春 (旭町一/ 城高美技)費の昌慶和 二坂恵 四石ロ一郎)初矣の一技(領成四石ロ一郎)初矣の一技(領成一百八月五五島表大)を「もき町、ノル五五島表大)を「もき町、ノル五五島表大)を「もき町、ノル五五島表大)を「おきの日和(同)春(同)春(同)春(同)春(同)春(同)春(同)春(同)春(日)

(同) ほんぼりと終子 (青野前 (同) ほんぼりと終子 (青野前 (元) ほんぼりと終子 (青野前 (元) ほんぼりと終子 (青野前 授(永登浦一一ノニ七楽津信爾(南山町二の四五富比良幸一 永坂蓮一九二矢 野草)池 昨の舞



且の長時間効力は持續的

れかつの勞過

チマウリ りこの乳

的のものが多いやうであったがあって欲しい。 新らに悪所へ直達し、 液の が引きますと 重然は皮膚から 敏な場所があります。非虚へ「熱 学作ら監伊後長野龍にわたって、經濟、リウマテスの狐き背末の魏を飲飲、軽郎丞能飲消の誕作形を、の織み、思や鯨の貼れは刎衛、鹹紫に最脱べ配進じ、泥炭、鐵術、て冠祚に庭らげます。 駐しり、膨 まの上皮の一部分に物が理像の強いこか能んでも、凝つても、感じ

言されるのは、用ひ方が如何にも 類疾にも 「蛇谷」が能上なく質

山澤三造

ところがシッカリのり移つては選ばれた特麗五點は何れも狙

夜中間脱なく素深が浸み込んで治一にも是非私態だけは新能量下さいか、「鋭布」を貼つて休みますと | てゐるためです。 どちらの衝家壁 ですから軽くは響る部に縦上と、下部との、います、かまがかれ所と、一手になっ、いまて、かまがかれ所にも、下部との、いまて、かまがかればにも、 かったがか何にも

定價

然し何かしかか上手にたった、 然し何かしかか上手にたった。 はして、からいふ風に引伸しを したと云ったやうた感にがする こはで度でなかかける温度の中 の軍に要勝向であるかの如く思 の軍に要勝向であるかの如く思 が変性には一時の魅力があつても 修養が足りたけ、計しが概念っても に上げが翻鍵でも内容のたい に上げが翻鍵でも内容のたい に上げが翻鍵でも内容のたい に上げが翻鍵でも内容のたい に上げが翻鍵でも内容のたい

舖 東京市廠布區鑑町二十一 渡 輝 綱

何を齎り 最近「ガッズ バイー清香の篠藤香」 ◆Eのない小説……ロスアンゼル| に使はれる字であるEか一つもな に住む米國爾秀作家アーネスト

行きつけだとかいふ寒を膨べ行く

と、愛い聞いても

の一點吸りなので、難にさ

一人今晩のラギオ

あの頃

また、金に鳴つた電話の受話

だららかと思つても見た。 を、この底に住み込ませてあるの と既へ聲をかけた。自分の襲を「電話を切らうとしたら

は、その底に勤めてゐる崔といふところが、呼んだ相手といふの

高い理想」若い男の店職で、つまり、罹君だ、ぶ人からだつたこともある。

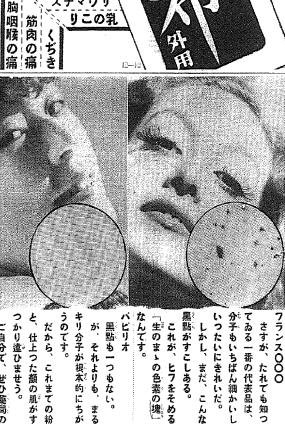
と逆襲されたが、それは南と

字を書いた様だらう」 と鑑かと確から数へてくれた。

、それは本福に片假名の

解すには ず、身骨が甚く疲れ みはどうにも我慢が さ辛さは云ふに及ば いたみ疼く病の苦し

五十肩の



「生のま」の色素の塊」

これが、ヒフをそめる

黒點がすこしある。

いつたいにきれいだ。

しかし、まだ、こんな

分子もいちばん細かいし

さすが、たれでも知つ

術を飛げ、翌朝は快い無分になっ

ほ〜紅の主張

顯微鏡で比べて下さい。

「口紅は唇が荒れる」といふのは、

ご自分で、ぜひ薬局の

と、仕上つた顔の肌がす

だから、これまでの粉

が、それよりも、まる 黒點も一つもない。

混つて、それで、みな桃色ぽたん色ぜて作つたものだから、粉に白味がこれまでのは、赤に、白の粉を混 系統になつてゐる。つまり頻紅が粉

といふのが間違ひでした。 粒子で生きた十二色が出たのです。 粉ぢやない、はじめての、のびる クリームの上で、どんなにのび

本的に違ふから、

普通銀行業務『異學院問題

京城南大門通二丁目百四十番地ノー **艦朝鮮殖產銀行** 

頭有質光

豐

比べてみると、これは

つけた顔を、かうして

みな世界的に、有名なの

ことがあります?

微鏡で、ごらんになつたご自分の粉白粉を、顯

の当れている。

ばかりですが

その中では



£6066666666

值 览门

先 留 先 留 服 程 程

第二

4. 6 5

0.0

\*\*\*\*

大夫され

(4-(1884 19-0))

(4-(1884 19-0))

(4-(1884 19-0))

(4-(1884 19-0))

(4-(1884 19-0))

(4-(1884 19-0))

後場 

(十二日日) (十二日日日)

고수 비 숙수우수 레 승규 명은 명점공장 공공

至 免会会主主英吉服

ţ.

四十以下四十四 の手で(い)の・ だが、點四十七

述くはない。紫

とあとは耽将兵を振らずと、

で、二十九(れの九)でもよかつた。が自生こと世四は、以下馬州 九まさの郷砂を気送し、そして自 四十と、馬の仕九の顔を耐く、そ の大津師立でこれがどうやら圏に 富つた総だ。 楽白六十二(れの十六)で観雲 た士三と最続に出られて、勿殿で た工三を最続に出られて、勿殿で 下遊の自二十三

/白间为山

**包丁一橋戸江區橋本日市京東** 

局者 0 感想

までを全部出し

點

評

覆面

道

白を五十と飛ばした。

一百二十五まで

年の数を失ひ、それが態の取団と たつた。 たは懸百六十九(をの団) で左下間に、懸百七十だと、極め て復期な、既は様本か――とも想 はれこれが感覚の実育で、熱のた めに旅歌に堵へない。

野の郷を失び、こ 年の郷を失び、こ

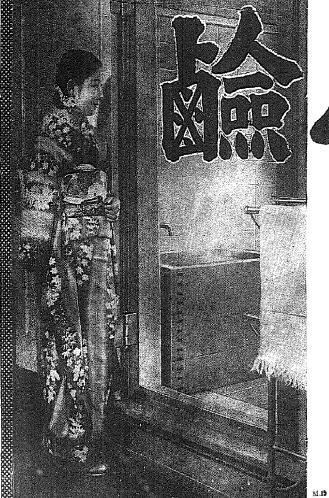
**F23** 

、 たし幼取五の町、

一个一个

੶⊘ૹ૽૽**૽૽૽૽ૢૹ૽૽૽૽૽૽૽૽૽૽૽** 





●ミックん論は 整肌がの優れた科學と 整肌がの優れた科學と

プラウム まま 上不 經濟 てする 一次 早 くて 家 半 上 不 經濟 てす

て中途に溶崩れず永保します

●ミッワルはは、肝のた後、肝がひゅっく様では在害です

第二、刺戟の強い石鹸はいけません

○ミツワル は 斯うした品は原料や工程に鉄點があります がい流す時ぬらつく石鹸はいけません で意味。御たし寸。一

すまり解かが否。良いの鹼で石が



本舗 東京・繭圏 〇丸見屋商店

.

燦然たる王冠

同楽中上げ、次いで前日平**が**話、 イ・イン・ウニイチングとして御 ン・イン・ウエイチング及びレデ 日動山に即坐駅、松平式出長街山 「ロンドン十二日同盟特派員發」論古の際典

式冠戴帝

その日……全世界慶祝

|唯下には天職組員社の御衣を召||章に これで入御、ウエストミンスター 予が茲に約 せるここ

でればまづウエストミンスター mul ATTLAT を ……9 住とを辞げる用意ありや」と設 の如頭側側に開撃に十字を切り 心学型的は故質に能しの語

仁子字の笏、左挙にようを

き信仰と幾重にも著

除等南海を整へ崩々として宮殿を出た十分に至ればまづ先驅行列を起し儀仗

妃南陛下を初め添り世界五十五國の代表が国々参加同八時 瞳かい着々側側が進められ午削八時頃には狭父母名代宮間

御警術裡に金色燦爛た る八頭立の御馬車に御 れの御式服を召さ

の短期時機器の上下南院派以

御正安で御場門、その公開屋とその世紀四周がの脚方か

特派員

いさせられ年期七時過き回路日

御戒風退りを賭し確然として大

十一部月の御沿自動中に御出来

各国事族代表の御先頭犯二

めの温所に関係事徒がにて大

は妃殿下を聞へさせられ各國身

側語を変はされたが、側名代宮

有手には各國大使、印度主侯 が居流れて夫々定めの窓についた 英本國 網島

英皇館の各営方は向つて右手、各

中立を提議

見、左の如き申合を決

波國

午餐館路上イーデン英外相と問見 式を機器に各國代表は活躍し外交 上作を進めてゐるが武中ボーラン 中立家を提議したと呼へられる、 十四日頃重ねて曾談するに決定し

李派の違反

野は江南カ百萬キロ都治は近く日 一示する水道、葉崎、整備など各

鴨江委員會規程

南外相は午軽団後大使の書籍で命

で午後四時被會した

令を以って公印された たがこの規則は半島民衆をして清

來る十月一日質施

汚物掃除令

| 「民間中の全氏の内変不非元氏で、」と信じむいたりまには、後江の重要性の保証を行う。 | 大阪電話 | 大阪電

て命敬の言語を明へ、次いで大僧 の時太鼓とラッパの音が堂内に せられて安息の行子にに続らせ

各國皇族代表の御

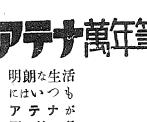
着職あそばされた、加着職は南着職、紀殿下にはその気間に即 御殿子、是世下には殿殿のベルに御話しあそばされておられる 隆下には西京の神 はは、と別か の概い限りである

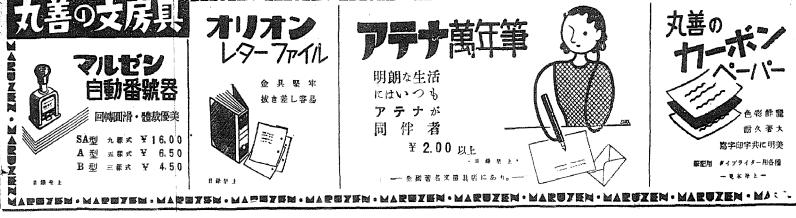
【東京電話】かねてイギリス島

で発せ の身心を練つて 超齢的更大 見る世に 日の本社主席春 と旨を想ひ

展記(時)

里中





+

一品靈黛

るがは石

敬集



むじ おん

高



利取締令公布鐵類賣買の暴 ない。原が、同句でれたか、同句でれたか、同句 芯の硬軟適切 運筆至て快調。 製圖用 節 記 用 朱藍色 複寫用

概率の限りを始して

に健康を誓けれ皇帝の御後に着席 女王の
第左手に集ずの

の、京原内の西マア・マ

一部では、 一部では、 ではなったとす。 ではなったとす。 ではなったとす。 ではなったとす。 ではなったとす。 ではなったとす。 ではなったとす。

**蛇治家、實業家、軍人、聖者※※** 歡迎の方法

れて語らず、戦勢自身が自分の時 見れば、殆ど寸刻の猶豫も興へら かことは一緒に他する問題であ あるが、従来の例に欲すれば、モ 性めて悪切丁郷に組立られるので 色々あるが、われらが特にこ 親切過阻といる際がする場合 館しいことである。 その方法に 前々から軽備し、その日程など 心にからることは、第一流入物 る場合に、これを廻へた地方 、その歌迎に心をつくすこ 人物が来るとなると、

試聘招團球ダ

り討ち、更に全國城界の三羽島門

院職したが、八到六で再びア

に飲えら名古野鸚遊を入野二で逐一微艶せんものと第二同戦を大分で二三度アラメダ車を造つたが、アラ映したが、その實力はまたも掌縁 | 名門の歴史に かけても |は牽九州に燃え慣つて熊本球場に

名門の歴史に

かけてもは全九州に燃え掘つて熊本城場に

本家 山本治兵衛 京都市五维大衛西 京都市五维大衛西

市対抗・戦に揺かれて九州へ渡る登録堂々と八幡健郷十門年記念都

四下以來十

勝二敗の

好成績

した、異敵來る!されど傳統を誇

一成風堂々と平宝へ上陸

もつてゐたが、その後度々兵間に

の御附託に副ひ、

道政の推

く御指導の程願上候 微力を致す存念にて將來共

明和上一年五月十一日 全羅北道會議員

重大なるを痛感すると共に 道政多事の秋に當り其の青

務省側から拒絶 二島子爵所有地を豫定地に 縺れ行く東京大會場

「旅書の出席を求めて外が重要基础」ことも國民の翡華的建明から採る職、場合に使つては内荷省より職「周毎に大郎場の外が外が際と云ふの組織変動館が接受政策に於て観」べき記念場であるとして反対し、の組織変動館が決定を表現した。 置案を踏ることになったか、之に を敬遺するに決定之を久栄出事務 職委員曹側から事告あり次第拒絶

赤誠の全部の表現ではなく、睨みするといふことは、決して好恋と

れに休息と、龍観と、熱視の時

8客に對する歓迎の減愈の一部が

4十分に加へることに、 遠來の

り凧にして、歌迎攻めを以て終始

表したきは人間の然らしむる

アラメダの

關。同時に大賣場の外苑外移廊と云ふ べきでないとし、結局第七十四 の言関せら如くを近の一致協力に に於て河原田内相、児玉離訛局女 を敬遺することは同凱校盟は明治 週間の組織委員會關係の動きは元 と共に代案に全面的文件を與へのが従来の消極性を落て追続委員的 この點文部省補助費七十五色組で この内務省の代案もオリンピツク る借入金による外途はなく、 主務省たる文部省及ひ招政市高局

> 東京 二十 20 五十 20 五 ・水血・幽痛・害虫をしまり

今日のスポーツ

四業医球リーグ鐵道沿殖銀 川期未永田 中贸 Ü

拝受仕り候に就ては今後駑馬に鞭うち道芸 拜受仕り候に就ては今後駑馬に鞭うち道政のされ身に餘る光榮と存じ淺學菲才をも顧みず今回不圖不肖等忠淸南道官選道會議員を任命 進展に粉骨碎身の努力を答まざる決心に この上とも道民諸彦の甚深なる御指導と御支遮展に粉骨碎身の努力を答まざる決心に有之 援賜らん事を懇願仕り

在勛大伊 吉修禧常助松烈吉

金堤郡

兢 演

湜 植

ッ

のであつた、その間九州帝大を子

型二で駆破し、實に西下以来 十一勝二敗と

光宗王の二十年、國施法師の開基

2度労を來し、五對四で信欺した

の期を狙ひ、博多惑蟲の第四回最

**夏珠のきゝめを實證** 

齺

られたが「第二世日本場」を設備 練習に次で猛練習、東京を出動

西下第一試合には中京の西下第一試合には中京の

外襲に備へて猛練

れば、歌迎の方法でもないと考

本語の意味の親切でもなけ

る。これは今後特に心して、

(狭く、明らかに、しかも

迎の要衝にあり、前洲国との接踵

ることに努めることが必要で

人物の戦災の機能も益々多くなる。他にあるところに於ては、一流

政治上部第上極めて近要なる

て終た交、新興産楽園とし 今日の朝鮮の如く、園

にあらすとするも、微多の人上 とであらうから、特にこのこと

ほかなく、これに對し朝鮮の旨業してゐる 朝鮮も常田統制手致料を飲吹する

金聯刺餘金激減し

殖銀より借入か

金融價の發行は不可能の狀態

り相當部の短期個人れを行ふこと

となった

簡保支拂狀況

製師が置かれ、

一年期に世祖は厨じたが、その生一 世祖の壁である、今から四百六十 今は朝鮮創育府林業試試豊光隊

林業試驗地

ら、これらの訪客に對して

一般しておきたい。また一流

題問制統出輸絹人

る仮況である。北支方面に向け再輸出されてゐ

海外におけるバーターシステム状 が内地における権用統制の强化、

元統制は不可避か

に實現するのではないかと見られ

き認識の機能を多く與へるやう

人絹布輸出の

第組聯合団の刺除金は二月末現在

唯の協調等を平案から十分に

すべての歌駆を取り

れには官民相互の連絡、各盟

らうかの歌迎と耐して機魔の多

最も意義あることではない

にらしむる館俗を興へることが、

以て跳躍を十

資客をして、富方を十分職器

るのではないか。 また、

る人にとりでも迎ふる人にとら

京城見本市

れることとなるが同国の低資受人 八干国になった、今後前次回収さ

新日新大

益山郡

英

益山郡

と共に半路林業の源である <u>を通つて、霊昭山を主山とし</u>重められてゐる、清波里の武器里 前、王が金剛山からの縁りに 世祖陵と宗教本山奉先寺

世祖王陵『光陵』原水の妙を得てゐるのを感じて最 白鑞山を案山とし、自然の地形がを通って、霊武山を主山とし前に

何なる戦術があるものか、 器のスポーツファンは高周電波に なさしめるわけにはいかない、 京城軍だ、ヤナノーと後に名を た、先王の陰を奉護するとい 焼かれ、高麗の末期には荒れ果 **炒として磨めいた** ると歓迎館の脚境に出る、 の民歌になる解風や湯若当 教宗本山である、江宗 は朝鮮州一本山の中の

西麓には三國時代の建築で一 李朝光宗の生存で『祖の後呂金 を經たといふ歴史のある奉水古や なほこの外に少し遠い赤癬利眠の

夕刊後の市况 「新煙油」の辿り

| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10

宫澤田元安村池 善

南原郡

李

庸

浮昌郡

H

文

休 器

井邑郡

殷

成

高敞郡

陳

萬

秀

扶安郡

化

金堤郡

鎬

并邑郡

朴

明

河 奎

任實那 長水郡

泂 漄

嚴 仁

南原郡

朴 政 植涉

全羅北道會議員に官選せら 不肖等今回改選に際し圖?

不肖等幸ひに當選の榮を得、其 今回全羅北道會議員選擧に際し 共に、各位の附託に副ひ道政の の責任の重大なるを痛感すると 共宜しく御指導の程願上候 進展に微力を致す存念にて將來

全羅北道會議員

群山府 伊藤光三郎

武助耶善市三

完州郡 鎭安郡 全州府 久 元 全 永 炳 喜

茂朱郡 錦山郡 阪 本宗十 郎法

柳 鎭 斌爀

是非川

須持よくかける 夢路用、學生用に この優良品を

<sup>醫學博士</sup>德 永

唄小情表るま高氣人々益

吾人もし不幸にして 得るを以つて推奨す 導き自然裡に離棄し ル」療法に依りて 困難に苦悩せらる者 は直ちに「福モナー に移行し、モヒ」奪除 慢性モルヒネ中毒 般の症状を治癒に 朝治療を誤り るに懺むここは日常繞踰せらる所でありませう。合の少なからざるここ、又は其等治療劑に置慎こなる結果効力充分ならざモルヒネ中涯症の妲き原因一定せざるものに單味薬物を用ふるも効なき場 各地著名樂店に有り 其他同類似麻醉藥の中毒症 モルヒネ、ヘロイン、 慢性中毒新治療劑 等阿片 ower it has been

元 **金 製** 所 究 研 學 化 醫 堂 天 順

元 實 题 商 衞 兵 五 邊 田 # 类 町修道區東市阪大

拉一門

頭痛にチンノー 活氣は充ち~~心身は爽快頭痛は止まり見る見る内に は大切 - をのむと二三分間で早や 頭痛を取去つて下さい らります ¢ きく 7

1.4 爾森田高融 1.4 爾森田高融 1.4 爾森田高融 1.1 國森田高融 1.2 國森田高級 2.5 高級 2.5 高级 2.5 高级

理定年 (東京) 本 (東京) 東京 (東京) 東京) (東京) 東 (東京) 東京) (東京) 東 (東京) 東京) (東京) 東 (東京)

服

眀

朗

是大阪商船駅出帆

+

京城本川二・日本田一三人

条内所 伊朗コロ本・安東大和 品 谷山 常山 名山 路山 名山 路船 記 日 知 知

鮮内代理店・案内所

京城支店

難國際運輸會社

朝鮮人登ノ御用ナラ 費生堂ノー流本場人签ァ

# 一隻で一日六百圓水揚げ

百風から帰低三十風、平均二百五 る悪族が終三百烈に及び第一回の | て巴谷輔に輩かな瓊海教線を時間 | ある形態、既朝の通り去月十一組。石首角誰を迫つて海豚してる| 激励罪を迫いぬ于罪とが入り職者 | 米し聖人未逃師といふ形になっ 直合計約五英風の水揚げをなし

この有名な漁場目がけて早くも先一婦七十人(四地人十三人)の娘子一 の来観を得ち購へて早くも待機のたが、この延坪路には既に漁師群 (内地人二般)飲金店二十五般の前要線を取つてゐた粹理量十八般 利三百岁が栄大地延歩島に入港し

**华北も上首尾** 

地元漁民は鮟鱇網一點張り

本年百五十萬圓突破か 十一日から二十人、九日にかけ 二十一國を風煙が走した事性が起って大雪切で、この庭園間には 至し目下所能が州客では狼人の目の地投金町から約一年後の漁船 至し目下所能が州客では狼人の目が延伸の間にすれてある。主 節側してあるので撤事な局で高してある。主 節側してあるので撤事な局で高でたますのメイ相はは日下平尾に は脚門と同しての過ずなりば本生態 でからうと原想されてある。主 節側してあるので撤事な局で高でたますのメイ相はは日下平尾に は脚門と同しての過ずな局で高でである。主 節側してあるので撤事な局で高で、下側で、のが再りは、一下、回を風煙が走した。 いれ、 28 名 

數々の有望新食糧品試作の戸氏に

咸南道でも援助法を考究

て消極の石首魚を函載せるこれ等

の強盗事性犯人でないことを裏書 してゐるとしてゐる、いづれにし 午前五時は再び右頭強事件被告者

のもの(木製及ひ金屬製の二種) | 期待を持たれてゐる 内地業者の獨壇場 清州の花祭



一部外に最大いものとなると大きな一しで大服ひを発売される 警察と檢事局の見解對立

部 書演外面敷添用電源、树敷来方に いまました 一般 では して は人し 収金 十国 産を 電解 り きました 級人として 清州 緊跳の 手 月 きました 歌人として 清州 緊跳の 手 月 不充分であるため異視人は他にあっ 性独人と断定するには除りに避嫌事分局における取調べにより同事 谷里金士以ぶんは清州法院支配板 [清州] 低報、まる一月中旬清州 りとなし結局 言語論後逃走途中國 における取割べに際し頭流車質を 一統犯人であるとの歴史を下し自信 であるが荷州署としては同人は客 月を喰ひ目下浦州服務所で服役中 り上げられ同人は院衛罪で概役十 果は事實と符合するところから强 自自したのみならず實地機器の結 いたといふ選挙が取事機のみが取

生鰮の

桝掛制

職業者の顕常超を接続してある有機で平北漁業者の設備成者、密認 指導は到下の急がとして編者の注。 目を恋いてある

城に進出し位于指をくわへて内地

は存してゐるため帆船底曳網の部 **健か**に漁業法が蚊頭類一颗戦りに しゐるが、一方批角の地元漁民は

み込んで大漁館を提乳よく即かし

回入船は各船とも二英尾以上を費

ものは『ひらめ』『くち』『かな

のみならず油肥製造業者のコスト この質励は既に漁獲高か正確なる を使用することに決定した、なほ

州豊省にとつて今回の金組の出動 逐次商園を奪取されてゐる舞義

物産の方に渡すことしなつたので

てこれも本部の指示によって三井 とは用来ない、そこで展立第一回

なことはないと言則するだけの用。 容吹んの問題は解決が着くこととれる方があるとすれば厳じてそん。 早壁形の問題は解決が着くことと

一撮るとつたやうな意味の事を言は

のである、唯聯合會が財閥と手をてそんなことを言わた事實はない

の能さんからの申出もあることで

おっし何かの特殊事情のない限り

と思ふが、折角新義州の地温部人

郷宮殿に封し広徳町上の窟地跡が、梁は史を将来に於て是正され、よ やら部場ででは見ばらればいるのと、開始され時からの間間を求き込し、り大なる利益と戦闘が前義が東着。 のほかが ぼうられて ろら 質所をはじめ金組本、支部共他婦」な目に見えた特徴技能の皮相性収 にもたらされるものとして出目さ

三井に取扱一任 山藤平北支部長談早晩解決しやう

と見られ、三井鞍紋による一時版 て盛りかへす結果を指来するもの

のものではなく脚ろ年々苦しき出

のよめるが、これが治療に考察す 開始され時ならの問題を認き成し

|| 水し銀人や迷師といよ形になつて || なった || なほ水半度は少くとも三十五条三|| がかく樹華島との駅所に相違を || るもの等の注意を喚起することに たしで深刻が傷みをつよけて込る **犯人逃削攻調べによつて総ては戦 | の結果になるリンゴ酒、グースベースを留前か且下自鹿をつけてみる | 父子二代三十億年に真る苦心研究** 然して來る時で同事性の既行に非して、リンゴフィス、リンゴバタ 交はこれから建築にかららんとす 現氏はこの程成別産業課を訪れて 場法、カモ香蘭晴等を世に問ふ方 り、西洋ワサビ爆結、ソーセージ でに建築に取りかくつてゐるものの安東将提も本年度の代採量は確 フレフトを作つて近く配布し、す | 連んらば呼ならぬ景源を見せる郷。ものなくこれではといふのでパン | 聴ごりを見せてゐる、その結果部 あないためか、さつばり利用する一辿り今年は一昨年の情観に近い高 苦心の研究卅年 開知して注文段野の情勢であるが の全生産を消費しても足らればに是が本俗的製造を開始すれば咸南 か一萬石内外で折角の値廻りも物 【大邱】臨尚北道から議衙周登日 | 蝦鹿竜飛騨磐蔵武部に道の小片線| | 横を深了したが見て明記議項の縁| 第二段符に移住の臨民首片はこの | 僧主事、 海峡鶴窟北郷に道の小片線| | 横を深了したが見て明記議項の縁| ものらしく、道面薬営局でも助信 百金雞で本格的動成に着手し得の れまた在鮮外人は自然と口傳てに **なほ來年度は少くとも三十五萬日 | 十日の三日間府敷を趙樂本年度示なしで深刻な儒みをついけてゐる | 【仁川】 府では去る七日、九日、** 削途ある事業とみられてゐる または代限の方法を考究中であり 撃と總會 **健川郷軍射** 近代的施設を整った

して既に自覚せしめ、態んで新義のである金組では最近その使命と れてゐる、殊に年々大成少を示し一進者である農民は甚だしまは背田一の間衛自の取扱い方法を定めるこ 不利益な生産狀態におかれてゐた の時から禁鍵をしたり要は出来秋 に安値で財政したり鬼に角非常に一の大豆の若荷が二百石ばかりあつ

|健果制験正統地帯に生産される所||されてゐなかつたのであるが、生||のであるから支部自體としてはそしへるわけのものでもないし突骸じ||することにして見たのではないか||は別る||で名人相にするとかしないとかは|| 間平北大豆の腹質方法は飛だ統跡|| 切本部の指述を禁骸として取拠よして入札にするとかしないとかは||についてもとりあへず三井に阪政 となつてゐる、すなはち支部は一一 法について本部をさしおいて獨領 州の支部をして取扱はしめること。從つて自分としては大豆の販豆方

れるので、このやうに平北の大豆一箱も一杯に

すべての交渉なども迅速に進めら

原木難深刻

胸首一名を置き、諸戦やに伴ふ建

となった都市財政やにより登別器 には建築相談所を署内に取けて技

建築相談所

利用方宣傳

てゐるが釈教令が一般に徹底して「年を確懷として年々異然の一途を「作儒を急いでゐる 木都安東の大悄氣

あるが、市街地計製令實施に行ふれるものにとつては野か深い顔で 翻鑑仁川の反映ともいふべく、公 た一人富り二十三回といる武器さ 新聞館は入野八千七百四十六人の新聞を開き継続した結果本年度の 八萬二十二百九十七國と決定し

定納認締切期日は五月中旬地とな

アラメダ何のその

必勝を期し猛練習

戸別稅

賦課額决定

不以集上新於衛生開催 來る十九、世間日間裔等女學校で 【清州】愛国婦人曾清州分当では 家庭染色講習會

を解脱せんものと関志を燃やして 七日の劉城で館までもアラメダ軍「仁川」既頭の如く全仁川軍は十

進展目覚しく、それに原中時代鳴り橋口投手も一年の経験を附んで 置けてゐるが今年は新進選手を加 へただけに陣容順に関化されてを 一投手師は先つ窓間、御手の河野、上た城大田の宮田教手を新に得 日作内監督指導の下に猛攘烈を

香からは翻線價値に挑縮をつけら 三等(四三點)南本遊在、四季 大、二等(三五葉)中荷重数、ファンは腺育して待ち無がれてる一般につき指導を収めた、問題は六、四年の計算、 一等(四四點) 本、一等(四四點) 生、四四點) 山原科 職は今中職命に用の人気を従ひ、一等(四四點) 山原科 職は今中職命に用の人気を従ひ、一般につき指導を収めた、問題は六、「再蜂業種の兩民に決定し引贈き時」 か合は 三、第、(三、第)、(三、第)(〇)は5部せるかどらか、この一家につき指導を収めた、問題は入 「再蜂業種の兩民に決定し引贈き時」 一門一點)京野主任、五祭(三人) してこの竪壁をアラメダがたやす

金水の有型指導場

先づ緬羊アンゴラ兎を飼養

初年度は基礎工作 る交通工便で氣候温度な好地域選問を渡り財厚河北郷から汽車選問を渡り財厚河北郷から汽車

格、四連八達してある整然たる 三百石揚水龍漑し、用水路、道 ・所をもつて遠河の淡水を毎砂 約十里に置つてある、麓電餅二 て出場の答なに昨年の日期者は年中で諸日は腕利きの精鋭を子ぐへというたが各者では連日協議権 ○四内外徳町射原原で銀行される 「高州」 忠北各数猴沼財抗原島

展として人植した李鵬園氏が任 北から百州八戸の豊家と共に頭 北から百州八戸の豊家と共に頭 れから百州八戸の豊家と共に頭 いの農材採を組織して尊��誠に機管存掘剤 島を観察し風光の柔神しさを網療後来仁、ドックと若葉動ゆる月尾木、田邊、津田の三氏は十一月午

保寧郡

任

熙

準

舒川郡

日常選択形のため本社仁川支局 の動き

洪城郡

兪

廷

植

青陽郡

李

相

班

シネマと演劇

天安郡

関

載

祺

牙山郡

柳

翼

暎

オー 大語)首田原、11等(11五點) 金牛酸、11等(11二點)酸聚物 金牛酸、11等(11二點)酸聚物、五等(十 七點)酸聚酯、六等(11六點) 七點)酸聚酯、六等(11六點)

じてゐる、新入植者には水田二 可歩の併地を與へ、反常り平均 三石の牧域を見込み二戸一棟の さゝやかさではるがに名まで 負して行展いた別が上街優り に今回の移足一間は感激し、各 を新天地の確政帝星にのはは感激し、各 を新天地の確政帝星にあるがに名まで 二農村の最大家屋)

第一623+78g 忠北各署對

見事な大農場

満洲移民の入植を完了した

係員の歸任土産話

瑞山郡

趙

東

元

唐津郡

梁

載

億

體山郡

李

鍾

愿

議道 員會 選 御

禮

に何卒 政の爲 第一回 の榮を得申候段感激に不堪候この上は乍微力道 所有權者各位の深甚なる御同情に依り幸ひ當選 め充分職責を盡す決心に御座候間將來共 忠清南道會議員改選に際し立候補したる 格別の御支援賜り度茲に以紙上御厚禮申

論山郡 扶餘郡 同 同 燕岐郡 公州郡 大德郡 大田府 芸 趙 李 裴 金 李 林 金 富 土 贀 昌 南 榮 永 Ħ 100 IE 平 天 洙 範 春 平 植 厚 垩 煥

の生態の桝掛酬を質測するとに決 【清印】 威北道では愈よ本年度か 成北で實施

出荷減少回復に

暫定的に一手販賣

ここでセッセーショー限大化を金組の積地低出物にようる新築州数物変素回し、有能学を示してゐる新築州商園の扱いを生命としてゐ。 問題は使然大豆の取 よる大豆一手貯留も決して永久時上流の大豆一手貯費 る時は三井野命組本部との特約に 【新藝州】金組織合會 農民の自覺を促す非常手段

単に至り水産所配に各水産配置役 つて陸揚げ計算する際山盛りに盛 路を除去すべく適法を研究中だつ 本は先づ正確な数字から」をモッ 業者に質行せしめるやう遊戯方をとに決定し道水産館をして道内全 習を打破して絶對に盛り上げぬこ たが他便高の不正確は六斗権に盛 トーする見島知事の命で以上の映 る業者と疑らの業者があるためで ることが判り本年度から版が が水産業では「産業政策などのよ とした、 即も 超過 腹高の 不正確は 著からの根氏は既に参考に止め 統計を作成して來たものである 肥の敗間から延算して散字を出 即ち 桝掛鯛を深らしめる こ 統計作成上の所であり従来は

正 胃腸病の患者が多い點では日本は世界に 有名ですが、 これは白米を食べるからだ

と言はれて居りますが

白米のやうな含水炭素の食物を食べるとそれを充分消化して血や肉に同化させ るため、食べた量に相當するヴィタミンB複合體が要るのです。ところが私た 食慾を減じたり、消化を鈍らせたり、その上、腸の運動を急けさせて、不消化 な残骸がお腹に水く滞つて腐敗し、それから便毒が血液を混濁させて、頭重と 芽を除いて食べるため、この成分が不足し、そのため胃と腸の筋肉が弛緩して ちはお米をわざ――精白して、肝腎のヴィタミンB複合體を含んで居る糠や杯 そしてこのヴィタミンB成分の不足が昂じると脚氣になるのです。 か不眠、さては血色を着くしたり、ニキビ、吹出もの……などを引き起します。

高 大食を必要とする運動家や筋肉作業に携 はる人々に胃腸病や脚氣患者が案外多い



或る學者が實驗した結果によりますと、私達が靜かにして居る ます。エネルギーの消費が殊の外甚しくなるから、どうしても食物を多く食べ て消費分を補はねばならないわけです。 しい運動とか勞動に從事しますと、實に九〇〇〇カロリー以上も要ると言はれ ときには一日の食物の量は一七〇〇カロリーで足りますが、劇

が起る……つまり慢性の胃腸病になったり、脚気に移行したりするわけです。 が、三倍だけ多量のヴィタミンB複合體が要るわけです。……そして、この補 やらにそれに比例してヴィタミンB複合體を確はなければ折角食べたものがエ このエネルギーを補名には、米の飯が一ばん効果的なわけですが、さらかと言 つて食慾も消化も便通も鈍りがちになり、元氣が失せて神經衰弱のやらな症狀 給を言ると、疲れが甚しくなつていつまでも抜けない、お腹の工合が變調にな ネルギー化されません。卽ち、一杯のど飯を食べるときよりも、三杯のときの方 つて、米の飯だけを澤山食べても全部血や肉に送られないのです。前に述べた

病氣のときや、 ス錠を與へると非常に元氣づいて來ます あれもB複合體の作用でせらか? お産の前後などにエビオ

やはりヴィタミンB複合體の力です。病氣のとき、わけても無や痛みのある病 それと同様に、姙娠中とか、授乳中とかにも二人分以上のヴィタミンB複合體 癒りが永びいたり……いろ~~な故障が起りがちのものです。 人は、病氣と踊ふために、平素より敷信も大量のヴィタミント複合體が要るの が要るわけて、この補給を怠ると、母體が衰弱して餘病を起したり、お乳の出 ら、病人には特に、多量のヴィタミンB複合體を興へねば、病勢が悪化したり です。例へば平時なら一杯のご飯に一錠のエビオスで良かったものが、かやう が悪かつたり……それが赤ちやんに影響して發育が遅れる結果となるのです。 なときには三錠から五錠の割合に生理的に要求することになるのです。ですか

區結局 能を丈夫にせよ」と言ふのですか? B複合體が必要で、 日本人の榮養障碍にはヴィ これで先づ胃腸の機能 タミン

谷農學博士監製 越栗學專

士鸙

まれる滋養成分を充分に身につけ の蛋白質などを與へた時代もありますが、それは無駄ではないにしても、胃腸 が肝要で、特に、これはわれく の消化運動を休ませる結果、却つて この弱つた胃腸に、成る可く負擔 へれば滋養成分が不足すると言ふよりは胃腸の齲きが鈍るために起るのです。 合體の不足が多く、即ち米飯だけ 確かにさら言へます。と言ふのは、 した現代の榮養學から見れば先づ胃腸の機能を丈夫にして、日常の食物中に含 いため胃と腸とが弛緩狀態になり、 米食人種にとつて大切なことです。 させるやう、ヴィタミンB複合體を補ふこと をかけないで吸收させやうと、旣に消化ずみ 食べてその築養化に必要なB複合體を補はな で胃腸自身の<br />
鯱きを<br />
退化させますから、<br />
進步 日本人の築養障碍は原因がヴィタミンB複 **折角食べたものが身になりません。言ひ換** 

围 のも、 近ごろ酵母剤が各 しいろんな種類が やはり實際 あるやうですが に効くからです 万面で用ひられ出し Á ? k

¥ 國産麥酒酵母の代表的なものはヱビオス錠です。ご承知のヱビス、アサヒ、サ ミンB複合體です。この大切な成分はどの酵母に一ばん多く含まれて居るかと く似て居りますが、酵母が治療上 ッポロ、ユニオンなどの醸造工場 今日の定説です。現に、品質を最も嚴選される帝國大學病院とか全國の大病院 言へば、それは断然麥酒酵母で、 その點になると、麥酒酵母の獨贈場です。色や香や味だけでは、どの酵母も良 少い雑種酵母などを含んで居らないだけ、今日最も信用ある製品として緊薬兩 (錠)の原料となるのです。素性の分らぬ輸入酵母とか、ヴィタミンB複合體の ては、酵母劑と言へばいつも麥酒酵母が賞用されて居ります。 に重きをなす成分は以上述べたやうにヴィタ 他の酵母の三倍以上も强力であると言ふのが ·出來る所謂『活性酵母』はすべてエビオス

三〇〇酸…一圏六十歳 その億勢末あり

界から多大の信頼を博して居るの

は皆さまご承知の通りです。

+

Tubleta hippon brewery co.

生徒を分配派出して委託

に努めて来たが、この皮紋がや「月秀雄教授は能る

好成績を得てゐる。しかしこれし、農村振興運動にも開聯して「朝鮮には早くからこれを實施

そのものを概視するやうになって、程理と関連するから、實際の中に傾向でも関立するかを芝頭において、程度の中に傾向がは、質なの中に傾向がある。

が加きせる場の金属が被大利地

の過間開発線を延伸した単作に帰り

北华十二日回日 先叹三回二京

した、仮つて歴光が佐は日に郷でした日づた。

櫻井少佐承徳に赴

氏は過程者向回流器に

たは匪賊

共同観査に続いた第二十九年軍事

献金

型れる百二十二回る例類研究の取 費に除っ

に明む。語

病別 国境 警察を

へて概く軍

| 想たので、こんどは歴にこれを學。多外、軍の演習地に獣優を借詞出

一番にコールインする事質を偏め

に更に多数の頭馬にこれを領域す

上潜伏されたものが堂々と一覧、一個的に研究すべく六月の臨時景場

近して質問すべく物機い経過な で準備を進めてある

城大杉原教授が

この一人職衆に属する組織の際、質師に属して、城大教育學教会校

別の問題に持ち出させて野地に逃 用せしめる外、農路期には全館各

方、そのノートを遊覧の同校

均衡が必要

城大松月教授語る

を馬競や馬軍

元化を叫ぶ

### 折断、最近文部省の職業指導に着目すべしの運動が起つて 今や全國的問題に

## 

製指導に属する師

施設売質要項を次の如く答申し 監証がでは随範學校の職業指

職工指導の教授時數を定め職一

教室、農園に應用

金を交付すること
金を交付すること
・ 然将は副節機技に對し、職 別むの別和大年からお総元の京師一、文部省は副節機技に對し、職 別むの別和大年からお総元の京師・ 然将技术金額に避けて今から六年 切つたものである 提校技が全國に魅けて今から六年

奬忠壇裏の 山林焼く

である、渡邊接長は踊る
助が金暦的に擴まつたの
の経野城の電源が遺化して来たの
が實際成績度好である、
の登録域の表現が選化して来たの
が實際成績度好である。

先づ全國師範學校に職業指導

**先驅者は渡邊校長** 

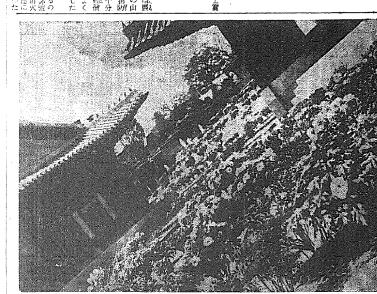
好成費を舉げてゐる、僕もそれ洋では早くから實施され非常に「學理と驗業敬育の一元化は酉

學理と實際の

施すべき問題である。 ならないから慣重に研究の

南山闽有林乃崎下の城原附近の山十二日午後等時半切京城襲郡帰國 林から観火、足塩の思いのに消け

行用炉を焼いて顔穴、擬物は物欲 膝の活躍で大耶に至らず間五十分 散歩窓の推革の嘘歌から膨火したであつたが、同地帯は見研しよく



四肢水蛭軍

組織七ヶ月の身重にの三層証頼器

化柳病專門())

三二金八

1111

蓋

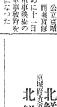
バーマネント。

操女

事

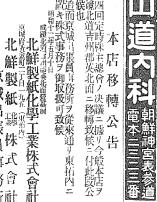
| 南本三大二二市 | 丁の | 古本三大二二市 | 丁の | 丁の | 丁の |

たほし) 背神山大日目勝負















館事は『熊湖一如の具現代に総心野力を望ふ』と提続を述べ南越質來資を代表して『一僧田商玉翻鑑所創頭等在場合方面の名士紋百四十名が出版、デザートコースに入つて柳

類の単作祭の記し、世界を受け十二日午後七時から日西朝國路に飾られた朝鮮ホテルに開か

草仁"鲜满如 朴名譽總領事の披露宴

野御一如の聞き状 部された南洲国語

本野助手は京城沿の**返馬に出盟**・

1 催のつ四後前日曜日

鮒釣團體競技會

京城府尹カップ、京日カップ其他プをはじめ、京畿道知事カップ、京畿道知事カップ、京畿道知事カップ、京世總監カヴ京任線素砂に開く、十六日午町六時十分京任線素砂に開く、十六日午町六時十分京任線素砂に開く、十六日午町六時十分

(蔵) 田2 — 4 (1) (蔵) 田2 — 4 (1)

けふの天氣

0

- 1

總監カツブ争奪

寫

眞
展

京城本町三中井ギヤラリーで開く高泉

だとあきれ返つてふる

たクットレー外七頭の馬に一定の

別問題的人題を與へながら、統領

同研究室でも歴台下は暗いもの酸見され人物研究の本郷である夢こそ、その壁楽であることが

大変例にキング六月號で大部判。 配叫して危い所を致った外域人の めた。と突加!日本人は居ないと

本人を設せと支那兵が電景を始酬の荒野を選進する國際別事中 日本人はゐない

の結果石配級に對して第廿九軍と一叉は節約に使り得たる深くましき一

アフメダ野球團

招聘四大試合展開

十六日間別

本府勝つ

一二 四 **塩コートで単行方本所冒額根試合** 

ハイキング

に顕著、曾以二囲

職せる製徒は銅器たる匪賊なるこ

したが、調査の結果国境醫祭を短

とが判明したので、諸支双方協語

十二日午後六時ごろ原版網路四 姙婦を轢倒す

問題皆は特に顧明一姐のために用路し本府各局長、川岸第世師醫長、有賀暗銀節取、

指門水虫、股門は各部の湯 顔 手 足 Ø 7

東京大相撲夏場所成績奏同體

士 の 20 へ見后階下行答 日 本本十字此第四十 本本十字此第四十 本本十字此第四十 本元十字此第四十 本元十字此第四十 本元十字此第四十 本元十字此第四十 本元十字此第四十 本元十字此第四十 本元十字此第四十 本元十字此第四十 明治座 けふから

机地所 京城府旭町一丁目

道黄

黄

道

南

心熙

海元禮

動 論 道 選 員 選 員 選 男

和本五三三五番)

道 會 議 員

閔

載

祺

(天安郡選出)

選

御

城曾

府

完**屋** 山 ₩

府 幹 選

世夫

〇〇香地先を通過中間内巡回順 )は自郷山に張つて緑路五丁自

中等龍球リーグ

信表質問題

道會議員

金

琪

慶

興

郡

選

出

軟式野球リーグ

日年後五時卅五分から原属

西部十日 塩

井醫院

質して では 本品 2 元三 二 音

手室に列封和と

電本三九七八番 青山糸 店京城本町三丁目 青山糸 店

四治町二ノニニ 大流社 山川の他資間 明治町生子もる人の他資間 明治町生子もる人

(例以即·战器解放) 4個中國政府部 1個上

見 20 社員二十級名の納却 話の現保な者一名、保用千後一時 遊童町三ノ二九八 別 新學 校 映 商 社

金三型打 小木谷 高度

当代十二日午後四時五十五分で発行す一日午後四時五十五分 種々の方法で

専憲局勝つ
単型同計

實業庭球リーグ

大きく随れ上つ 克城斯沃門名へ

で前世4──3(2)

和 金

射をすれば直ぐ治る」と経しげ が十一日正午記舞に來て「注 な治射器を出し間壁のところに にもあられて困つてゐた **薬(ご)でサビシイ摘を思じ仕選** 

早達金云早を開師法途は高数 即形態に及びかねまじき有標 注射した、確さを我慢して一夜 当別かすと つこれこの通り の手で課題に泣かされた者は 一窓く響官連っモウよし

配加

・キレて訊くと、この男嗚町一

(生徒群集) 小兄器械はリ

一、四山縣市自教の場所 一、四山縣市自教の場所 (電源部間・展源的 (電源部間・展源的 (電源部間・原源的 (電源部間・原源的 (電源部間・原源的 所院

興第三十二

